

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金 成果報告書

代表者氏名	陳 冲	所属	山口大学
研究会等名称	計算論的精神医学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 12 名 (うち認定心理士 0 名) 非会員 37 名程度 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>2023年10月10日に、第1回研究会を山口大学医学部およびZoomを利用したハイブリッド形式で開催した。この研究会は、運営委員が主催するシンポジウム3件と、話題提供者による口頭発表3件で構成された。研究会の立ち上げ以来初めての集会として、計算論的精神医学の将来の発展に焦点を当て、多様な話題を取り上げることで、活発な議論の場を提供することを目的とした。現地からは約30名、オンラインからは約20名の参加があった。開催詳細は以下の通りである：</p> <p>テーマ：「融合の時代：精神医学と計算科学の交差点」 開会挨拶： 山口大学大学院医学系研究科 高次脳機能病態学講座 中川 伸先生 シンポジウム (3件)： 演題1：「強迫性障害とギャンブル依存の強化学習」 一橋大学 鈴木 真介先生 演題2：「社会的合意形成の認知神経基盤の解明に向けて」 北海道大学 小倉 有紀子先生 演題3：「大規模ウェブ調査から明らかになった運動・睡眠・スクリーン 時間とメンタルヘルスの非線形な関係」 早稲田大学 望月 泰博先生 口頭発表 (3件) 演題1：「ポジティブな記憶想起が意思決定に与える影響」 山口大学 度会 美濃先生 演題2：「逆境的小児期体験が成人期の心身健康に及ぼす影響」 山口大学 平井 貴大先生 演題3：「機械学習を用いた産後うつへの予測」 山口大学 古賀 孝弥先生 閉会挨拶： 山口大学 AI システム医学・医療研究教育センター センター長 浅井 義之先生</p>		

(様式5)

2024年 3 月 26 日

日本心理学会研究会 2023 年度会計報告書

研究会名称 計算論的精神医学研究会

研究会番号 23012

助成金額 ¥40,000

年 月 日	項 目	金 額
2023年9月20日	研究会開催チラシ	¥1,184
2023年10月2日	Zoom利用料（研究集会開催当月）	2,338
2023年10月10日	講師や挨拶者用お水代	¥1,160
2023年10月10日	講師用茶菓代	¥995
2023年10月10日	講師謝礼（非構成員、5000円×3）	¥15,000
2024年4月12日	返金（日本心理学会）	¥19,323
	支出合計	¥40,000